

大名みえ子です

〒319-1112 東海村村松 2401-2

電話・FAX 029-284-0761

E-mail toukai@oona-mieko.info

6月議会
一般質問から

小・中学校の教材費、保護者負担の現状と軽減策について

大名 教材費や給食の材料費等、保護者が負担する費用は大きい。学校保管の教材をふやして負担軽減を図るはどうか。学校保管の現状を問う。

教育部長 のこぎりや小刀など工具や算数セットなど、主に学年や学級で備え付けし共有できる物品となっている。個人が準備する物品では、書道セットや絵の具セットなどの児童生徒個人の所有物で学校、家庭のいずれにおいても使用できるもの、リコーダーなど衛生的見地から個人で準備するもの、作品の材料など個人に還元されるものなどが挙げられる。今後その使用頻度や使用状況をふまえ、保護者の視点を持ち、軽減を図る方向で検討してまいりたい。



大名 遠足や修学旅行等の行事も授業の一環であることは言うまでもなく、どの子も安心して参加できることが重要。行事費への助成についての考え方は？

教育部長 遠足や修学旅行等の行事費用については、児童生徒個人が体験し、還元されるものとなることから保護者に負担していただくことが原則と考える。

大名 本村の給食費は、自校方式によるとはいえ、県内でも高位に位置する。今、給食材料費について公会計に移行している自治体が多くなってきているが、本村も公会計に移行し、保護者の軽減策を図ることができないか。

教育部長 給食費は現在、小学校が月 4,200 円、中学校が月 4,600 円。学校給食法の規定から食材費用については保護者負担となっているが、村では、精米購入費や牛乳輸送費の一部などの援助を行い、保護者の負担軽減に取り組んでいる。議員提案の現在、学校で行っている会計業務を公会計に移行することでは、学校業務の負担軽減につながるとも言われているが、保護者の負担軽減の視点からも情報収集を行い、研究・検討を行ってまいりたい。

第3回

にじいろコンサートを鑑賞

6.16 in 東海文化センター



東海村主催のバリアフリーコンサート、「にじいろコンサート」が、第3回目として6月16日、東海文化センターを会場に開かれ、鑑賞させていただきました。車いすで鑑賞に来られた方々、障害を持たれながら作詞や楽器演奏をステージで披露された方々、プロの歌手との共演など、曲も演奏も本当に心に染み入る素晴らしいコンサートでした。終盤あいさつに立った山田村長に、共催者で司会をされた「東海メロディア」の村上さんは、「文化センターのバリアフリー化は、まだまだですね」と述べられました。かねてからのもっともな課題ですね。